海老名市

高齢者地域ふれあい事業の手引き

２０２２.４改訂版

海老名市 自治会連絡協議会

海老名市 保健福祉部　地域包括ケア推進課

海老名市 社会福祉協議会

利用にあたって

本手引書は、現在多くの自治会で実施されている、高齢者対象のイベント型事業を、**地域住民と高齢者そして他世代が一体感を持ち、より地域に根差した活動として発展させていくため**に、市自治会連絡協議会、海老名市保健福祉部地域包括ケア推進課、海老名市社会福祉協議会が作成しました。

高齢者地域ふれあい事業の目的

- 高齢者が地域住民の交流の場に参加することにより、地域とのつながりを深める。
- 高齢者が主体的に事業を開催したり、参加することで、日常生活の活性化を図る。
- 自治会、社会福祉協議会、行政などが地域の状況を把握し、連携できる。

本手引きを参考に、地域づくりのためには何が必要か、その為には何をしなければならないかを話し合い、新しい自治会活動に向けて、活用して頂ければ幸いです。

― 目次 ―

1．これまでの経緯　---------- P- 1

2．今後の目指す方向 ---------- P- 2

3．補助金の範囲---------- P-3

4．開催時の注意点---------- P-4

イベントを行うにあたっての注意点---------- P-5

具体的な対策について---------- P-6

5．補助金の申請（報告）のながれ---------- P-7

1）補助金申請時の提出書類

(1) 補助金交付申請書 ---------- P- 8

(2) 事業計画書 ---------- P- 9

(3) 補助金請求書 ---------- P- 10

2）事業終了時の提出書類

(1) 事業実績報告書 ---------- P-11

(2) 事業成果書 ---------- P-12

6．地域の取り組み事例紹介 ---------- P-13

1. これまでの経緯

海老名市は従来、「敬老の日」にちなんで、長寿を祝う会（敬老のつどい）を、７５歳以上の高齢者を対象として実施してきました。

しかし高齢化が進むにつれて、市全体で『敬老のつどい』を実施することが難しくなり、平成 17 年度から自治会にその運用を任されることになりました。

平成 17 年度～ 自治会主催　「高齢者地域ふれあい事業」

敬老意識の高揚とともに、高齢者が地域交流の中で生きがいを持って生活して頂くことを目的とし、自治会が主催する事業に、市、社会福祉協議会が補助する方法となる。

⇩

各自治会にて「高齢者地域ふれあい事業」実施

⇩

平成２７年８月５日　第２回 福祉部会

高齢介護課より、現状の「高齢者地域ふれあい事業」のあり方について、多様化するニーズに対応すべく、再度福祉部会に説明提案があり、検討に入った。

⇩

９月７日　第３回 福祉部会

福祉部会として「長寿祝い事業」「地域交流事業」の両方を否定するものではなく、地域の実情に合わせ、各自治会が検討する期間としてとらえ、参考となりえる「手引書づくり」を進めることとなった。

⇩

１０月９日　全体会にて主旨説明

⇩

１１月１８日　第４回 福祉部会

「手引書」作成の意見交換　→　作業部会発足

⇩

平成２８年１月５日　第５回 福祉部会

「手引書」の内容最終確認

⇨ **１月２５日　全体会**

「手引書」運用主旨説明

⇩

補助金運用範囲の拡大

①長寿祝い事業（敬老のつどいの開催）

②地域交流事業（年間を通じ、地域住民の交流事業を開催）

⇩

令和４年度

「手引書」の改訂

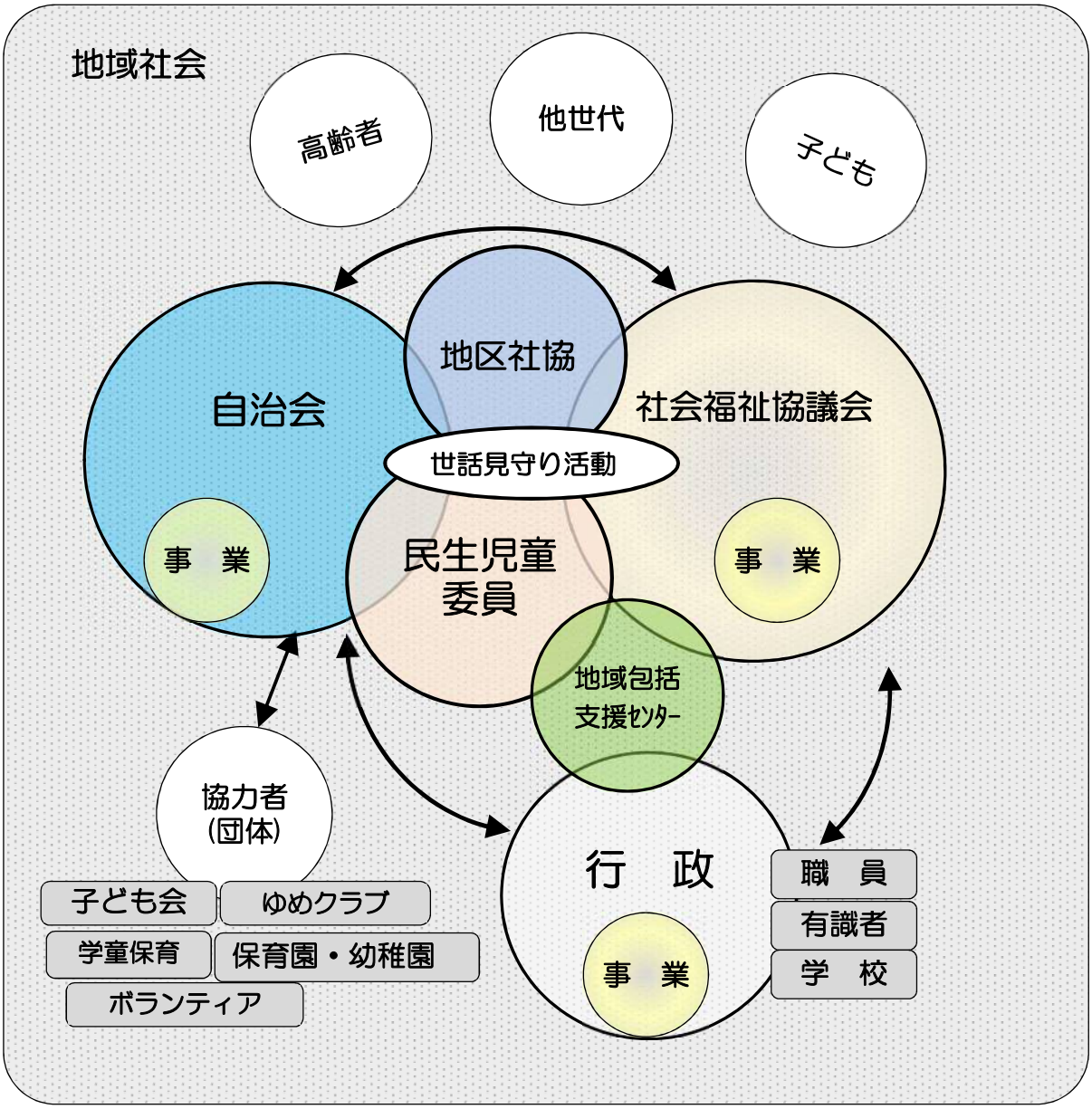
①長寿祝い事業　（集い型）

②長寿祝い事業　（訪問型）　⇦新規追加

③地域交流事業

２．今後の目指す方向

高齢化が進む現在、地域活動の中に高齢者をどのように巻き込むことが良いか。また地域連携型の事業はどうあるべきかを考え、世代間の交流や継続性ある事業が重要となります。



この連関図は自治会が地域活動（高齢者を含めた）を行うために、地域における各種団体や行政が連携して事業を進め、高齢者の活動を支援する仕組みづくりについて表したものです。

３．補助金の範囲

海老名市社会福祉協議会は海老名市の委託を受けて、自治会が実施する、地域の方々が楽しめる催しや、地域で高齢者と交流を図る内容に対し、補助金を交付します。

目的：長年地域を支えてくださった方々に対して、感謝しお祝いをします。
また、子どもから高齢者まで参加できる事業を行い、地域での交流を図り、孤立しないようにします。

① 長寿祝い事業　集　い　型（対象の方に参加しに来てもらい実施）

家の中にこもりがちになってしまう高齢者を招待し、外出する機会をつくることで、フレイル予防も行いながら、お祝いをします。

〔具体例〕自治会ごとに自治会館やコミセン等で開催　など

NEW！

② 長寿祝い事業　訪　問　型（対象者のお宅を訪問する）

中には、人混みが苦手であったり、身体的な理由でイベント等には参加したくない方もいらっしゃいます。そのような方へ、ちょっとした手土産を持参し自宅を訪問します。地域で孤立することなく、安心して暮らせるように、近況や地域の様子などを話し、状況を把握します。

〔具体例〕長寿祝い事業として記念品を持参し訪問　など

③　地域交流事業

年間を通じ、地域住民（子ども～高齢者）の交流が図れる事業を開催します。

〔具体例〕・茶話会等を年に数回開催　など
・夏祭りやどんど焼き等の季節行事を開催

季節の行事に合わせて

健康増進を目指して

※これらの①②③事業を組み合わせて実施も可

４．開催時の注意点

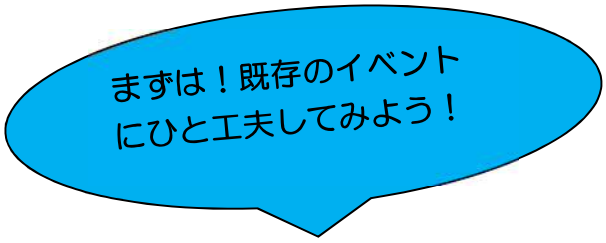
下記事項について確認をし、参加者及び実施者の安全対策を行ってください。

① 国等が発する「新型コロナウイルス特別措置法」又は同等の感染防止等に対する指示事項を確認し、実施の判断をしてください。

実施にあたっては、以下の事を基準に行ってください。
- 飲食を伴うときは、「飲食店等への要請」を基準に行う。
- 施設等に人が集まるときは、「その他の施設への対応」を基準に行う。
- イベント形式で行うときは、「イベントの開催制限」を基準に行う。

② 実施する時は、国等から出されている「新しい生活様式」等を確認し、実施してください。

- 「新しい生活様式」の詳細は本手引き５～６ページ又は厚生労働省のホームページをご参照ください。



４－１．イベントを行うにあたっての注意点（新型コロナウイルス感染症対策）

Step1　活動者同士の話し合い　～心配なことを丁寧に話し合う～

市内の感染状況、気になる方の生活状況、役員や活動者の不安感などについてよく話し合い、今必要なこと・できることを考えていきましょう。
役員等が不安を抱えたままの活動では負担感が増し、継続することが難しくなる場合もあります。
感染リスクの低い活動から始め、実施状況を振り返りながら次の展開に進めていくことが大事です。

Step2　地域の関係団体等との意見交換　～地域の理解を得る～

感染状況が収束していない中で活動を行うことに対して、地域の中でも様々な意見があると思われます。
自治会、民生委員児童委員等と、気になる方の状況や必要な活動及び取り組む感染症対策等について情報を共有し再開に向けての理解を求めましょう。

Step3　地域住民への情報提供　～活動で取り組んでいる感染症対策のお知らせ～

どういった対策をしているのかがわからないと、イベント活動への参加を躊躇する人も少なくありません。
活動上おこなう感染症対策を、しっかり対象者へ伝えていくことが必要です。

イベントや活動の際に、何度でも啓発資料の配布や掲示、読み合わせをするなどして、活動者も参加者も日常生活での感染症対策のポイントを学び合いましょう

感染症対策のポイント

①「３密を避ける」
②「正しい手洗い」
③「正しいマスクの着用」
④「こまめな換気」

※啓発資料は、厚生労働省のホームページよりダウンロードできます。

４－２．新型コロナウイルス感染症　具体的な対策について

集まって実施する場合

室内の場合

- **密にならない参加人数での実施**
  …人との間隔を最低１m空けて参加できる人数で行いましょう。会場によっては定員数が設けられている場合もあります。
- **マスク着用参加の協力を徹底**
  …参加前に協力の周知をしましょう。
- **当日の参加者の名簿を管理**
  …万が一感染があった際の連絡に必要です。
- **検温機・手指消毒液を入口に設置**
- **アクリル板の活用**
  …対面で座る場合は透明な仕切りを設置すると安心です。

- **飲食が伴う場合、食事中は黙食を行う**
  …飲食時はマスクを外す必要があるため、行う際は黙食を促しましょう。
- **コップ等は使い捨てのものを使用し、食べ物は個包装されたものを準備**
  …複数人が同じ食器を使うことがないよう、気をつけましょう。
- **窓を開けるなどの室内換気の実施**
- **使用した備品、ドアノブなど共用部分の消毒**
  …同じ道具を別の人が使う際は、使う前に消毒をするようにしましょう。

屋外の場合

- **外でもマスク着用参加の協力は徹底**
- **当日の参加者の名簿を管理**
- **参加者への検温・手指消毒を実施**
- **人と人との距離を最低１m保って参加**
- **飲食を伴う場合、専用のスペースを設け、そこでのみ飲食する**
  …専用スペースはパーテーションや間隔を空けたテーブル配置など、ソーシャルディスタンスを取るようにしましょう。

訪問して実施する場合

★訪問者は検温・手指消毒を行い、マスクを必ず着用しましょう。
★会話の際は対象者にもマスク着用をお願いし、１m程度の距離を保ちましょう。

５．補助金の申請・報告のながれ

＜事業実施前＞

申請（自治会）

事業実施する １ か月前までに社会福祉協議会会長へ以下の書類を提出してください。

① 補助金交付申請書（第１号様式）
② 事業計画書（第２号様式）
③ 感染症対策計画書（任意様式）

確認（社協）

提出書類を確認し、補助金交付を決定します。

決定・通知（社協）

審査後、補助金の決定について、『決定通知書（第３号様式）』により、自治会に通知します。

＜事業の変更、中止の時＞

申請（自治会）

自治会は、補助金対象事業を変更、中止又は廃止する場合、速やかに『事業変更（中止・廃止）承認申請書（第５号様式）』を社会福祉協議会会長に提出し、承認を得てください。

＜事業実施後＞

申請（自治会）

自治会は、事業完了の日の翌日から起算して、20 日以内に以下の書類を社会福祉協議会会長へ提出してください。

①事業実績報告書（第６号様式）
②事業成果書（第７号様式）

決定・通知（社協）

社会福祉協議会会長は、報告を受けたのち、補助金の額を確定し、以下の書類を自治会長へ通知します。

①補助金確定通知書（第８号様式）

１）補助金申請時の提出書類〔記入例〕

(1) 補助金交付申請書

第１号様式(第５条関係)　　**記入例**

令和　4 年　6 月　15 日

初回事業の1ヶ月前までにお願いします。

令和　4　年度社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
高齢者地域ふれあい事業補助金交付申請書

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
会　長　　前　田　洋　子　　殿

住　所　海老名市 OOOO1−1−1

自治会名　　OOOOO丁目　　自治会

会長名　　OOO OOO　　㊞

このことについて、令和　4　年度高齢者地域ふれあい事業について補助金の交付を受けたいので関係書類を添えて下記のとおり申請します。

１．事業の名称及び事業予定日、交付割振り額

事業計画書のとおり

２．事業の目的及び内容

地域の高齢者が地域のふれあいのなかで生きがいを持った生活を営むことを目的とし、演芸会、食事会、レクリエーション等を行い、地域住民との交流を図る内容とする。

３．交付申請額

500,000　円

事業計画書の協議会補助金①～③の合計額を記入してください。

５．添付書類

事業計画書

(2) 事業計画書

記入例

第２号様式(第５条関係)

事 業 計 画 書

	事業名	日時	概要および目的	協力団体
1	ふれあい茶話会	令和 4年 7 月 20 日	○○地区の高齢者を対象に健康講話やレクリエーション、おしゃべりを楽しみ交流を図る。	民生委員 地区社協 (　　)

開催場所	収支予算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○自治会館		協議会補助金①	50,000	給食費	30,000
		自治会負担金	0	諸謝金	10,000
事業費合計			0	事務経費	10,000
			0		0
50,000 円		合計	50,000	合計	50,000

	事業名	日時	概要および目的	協力団体
2	敬老のつどい	令和 4年 9月 15日	○○地区の高齢者を招き、敬老長寿を祝う会を行う。	民生委員 地区社協 (　　)

開催場所	収支予算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○コミュニティセンター		協議会補助金②	420,000	給食費	370,000
		自治会負担金	20,000	諸謝金	30,000
事業費合計			0	事務経費	40,000
			0		0
440,000 円		合計	440,000	合計	440,000

	事業名	日時	概要および目的	協力団体
3	どんど焼き＆餅つき大会	令和 5年 1月 10日	○○地区の異世代の交流と文化の継承を図る。	民生委員 地区社協 (　　)

開催場所	収支予算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○広場		協議会補助金③	30,000	給食費	20,000
		自治会負担金	10,000	諸謝金	10,000
事業費合計			0	事務経費	10,000
			0		0
40,000 円		合計	40,000	合計	40,000

※不足する場合はコピーをしてご使用ください。

(3) 補助金請求書

第４号様式（第７条関係）

令和 4 年度社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
高齢者地域ふれあい事業補助金請求書

令和　　年　　月　　日

空白でお願いします

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
会 長　前 田 洋 子　殿

住　所　海老名市 ○○○○1－1－1

自治会名　○○○○○丁目　自治会

会長名　○○○ ○○○　㊞

令和 4 年度高齢者地域ふれあい事業補助金を次のとおり請求します。

請 求 額　金.　500,000 円

（振　込）

金融機関名	○○○　銀行（ 農協・信金など ）　○○○　支店
口座番号	普通 ・ 当座 （ 1234567 ）
フリガナ	マルマルマルマルマルチョウメジチカイ　カイケイ　マルマル　マルマル
名 義 人	○○○○○丁目自治会　会計　○○ ○○

※ 通帳のコピー（銀行名・支店・口座番号・名義「カタカナ」が確認できるページ）を添付のこと。

２）事業終了時の提出書類〔記入例〕

(1) 事業実績報告書

第６号様式(第９条関係)

令和　5 年　1 月　30 日

実施後20日以内にお願いします。

令和　4　年度社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
高齢者地域ふれあい事業実績報告書

社会福祉法人海老名市社会福祉協議会
会　長　　前　田　洋　子　殿

住　所　海老名市 ○○○○1－1－1

自治会名　○○○○○丁目　自治会

会長名　○○○ ○○○　㊞

標記の件について、社会福祉法人海老名市社会福祉協議会補助金等の交付に関する規程第13条に基づき、次のとおり実施報告書を提出いたします。

記

１．補助金額　金.　500,000　円

２．補助金額の概要　別紙事業成果書のとおり

３．補助事業に係る収入支出の精算書　別紙事業成果書のとおり

事業成果書の協議会補助金①～③の合計額を記入してください。

(2) 事業成果書

第７号様式(第９条関係)

事 業 成 果 書

	事業名	日時	事業成果	
1	ふれあい茶話会	令和 4年 7 月 20 日	<成果> 健康講話を通し、健康に関する意識啓発となり、また高齢者間の交流が図られた。	<参加者数> 43 名 (高齢者 43 名)

開催場所	収支清算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○自治会館		協議会補助金①	50,000	給食費	30,000
		自治会負担金	0	諸謝金	10,000
事業費合計			0	事務経費	10,000
			0		0
50,000 円		合計	50,000	合計	50,000

	事業名	日時	事業成果	
2	敬老のつどい	令和 4年 9月 15日	<成果> 地域ボランティアの音楽や踊りを楽しみながら、親睦と交流が図られた。	<参加者数> 100 名 (高齢者 80 名)

開催場所	収支清算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○コミュニティセンター		協議会補助金②	420,000	給食費	370,000
		自治会負担金	20,000	諸謝金	30,000
事業費合計			0	事務経費	40,000
			0		0
440,000 円		合計	440,000	合計	440,000

	事業名	日時	事業成果	
3	どんど焼き＆餅つき大会	令和 5年 1月 10日	<成果> 昔ながらの日本の行事を通じ、子どもから高齢者が楽しみながら交流が図れた。	<参加者数> 100 名 (高齢者 60 名)

開催場所	収支清算書	収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
○○広場		協議会補助金③	30,000	給食費	20,000
		自治会負担金	10,000	諸謝金	10,000
事業費合計			0	事務経費	10,000
			0		0
40,000 円		合計	40,000	合計	40,000

※不足する場合はコピーをしてご使用ください。

地域の取り組み

事例紹介

地域で「集まり」を運営している自治会の皆さまの中には、活動をどのように再開すべきか、悩んでいる方も多いのではないでしょうか？

さまざまな地域で取り組まれた事例をまとめましたので、ご参考にしていただければ幸いです。

１　「集まる型」～対象の方に参加しに来てもらい実施～

方法：□事業の内容を決める　□参加対象者の年齢を決める　□感染症対策確認
□実施場所を決める（予約）　□案内を送付　□参加人数確定
□事前準備（役割分担、用意する物の確認等）　□当日

〔具体例〕・自治会ごとに自治会館やコミセン等で開催
・コミセンや自治会館で記念品を配布。対象者に取りに来てもらう。

事　例

市町村名	活動内容
東京都東久留米市	デイサービスでのイベント

活動内容・工夫事例
～コロナ禍での敬老会の開催～
１概要
　全国的にも敬老のつどい等の開催が中止となる中、敬老の日に寄せて、一度に会場に入る人数を調整して開催しました。
　米寿（８８歳）、百寿（１００歳）等節目のお祝いを迎えられた方々の写真を記念に撮りました。参加者は写真撮影以外の時間は、常にマスクをつけて参加してもらいました。
　また、写真撮影以外に、楽器演奏やダンス、ショー等を皆さんで見ていただきました。出演者の方もマスクは必須としました。
　久しぶりにこういうショーを見て、とても楽しかったとの声が多数あがっていました。

長寿の秘訣として、人と会うこと、交流すること、刺激を受けることはとても重要です。いつまでもお元気で過ごしていただくために、高齢者の方が楽しめるイベントができると良いですね！

～他にもこんな「集まる型」事例があります～

地域で実施しているサロンの場所で開催（茶話会）

場所　自治会やコミセンなど

内容　マスク着用で参加。卓上にパーテーションを設置、お茶を飲みながら歓談した。お弁当は持ち帰りにして健康体操を中心に開催した。

効果　安心して会話も弾み、参加者の気分転換・交流の機会になった。

校庭でイベント実施

場所　小学校や中学校の校庭

内容　いつも行っていた演劇などのイベントはとりやめ、記念品の抽選会のみ実施した。

効果　「この催しなら来れる」との声があり、また前年度より参加参加人数が増えた。

屋内で展示会開催

場所　自治会館やコミセン

内容　介護予防の啓発として「福祉・介護用品の展示会」を実施した。

効果　高齢者だけでなく、親の介護を考えている世代の参加もあり、介護について考えてもらうきっかけになった。

テイクアウトのみの実施

場所　コミセン

内容　イベントは実施せずに、会場で手土産とお弁当を配布した。併せてコロナ対策グッズと生活相談や介護相談の広報チラシも同封した。

効果　当日受け取りに来た方がチラシを見て、後日、生活相談につながった。

２　「訪問型」～対象者のお宅を訪問する～

方法：□どのように訪問するのか内容を決める　　□参加対象者の年齢を決める
□対象者の住所を確認　　□人数確定　　□感染症対策確認
□事前準備（役割分担、用意する物の確認等）　　□当日

〔具体例〕
・敬老の日に、見守りを兼ねて記念品等を持参
・季節のはがきや新聞などを作成して、訪問して手渡しする
　→郵送で品物を送付するのではなく、対象者のお宅を訪問して、直接手渡しすることで、コミュニケーションが図れる

高齢者宅を自治会や民生委員等が一緒に訪問して、コミュニケーションを図ることで、顔の見える関係づくりに繋がります。また高齢者の安否確認・見守りの一面もあります。

事　例

市町村名	活動内容
北海道千歳市	自治会の活動

活動内容・工夫事例
～コロナ禍での見守り活動を目的としたお祝い品の配布～
１概要
　町内会では、９月の敬老の日に施設や病院に入られている以外の町内の７５歳以上の方約２００名に、お菓子の詰め合わせを訪問してお渡ししました。以前は、市内のコミセンを借りて、料理を作り、皆さんで会食をしていましたが、新型コロナウイルスの影響でそれができなくなり、町内会長と福祉委員で手分けをして、見守りを兼ねてお渡ししました。

２工夫ポイント
　訪問することで、長寿のお祝いと高齢者の見守り活動につなげることができ、高齢者と地域のつながりを深めることができました。また、受け取られた方は大変喜ばれていました。

～他にもこんな「訪問型」事例があります～

お弁当持参訪問をしながらフレイル予防

方法　対象者宅に訪問

内容　お弁当と一緒に介護予防プログラム、お手紙をお届けした。

効果　地区社協やボランティア団体と協力し、地域と各団体がつながるきっかけになった。
困りごとがある人からは相談を聞き取り、関係機関と共有できた。

ハロウィン交流会

方法　対象者宅に訪問

内容　大人と地域の子どもがハロウィンの仮装をして、お祝い品と子どもたちの手作りカードなどをお渡しした。

効果　地域の大人、子ども、高齢者の三世代が触れ合う機会を作ることができた。

敬老祝い品を持参して困った時の相談案内

方法　対象者宅に訪問

内容　敬老祝い品と共に、相談窓口の連絡ステッカーをお渡しした。

効果　訪問によって顔を合わせる機会をつくり、相談を受けたり地域の事業をお知らせする機会につながった。

３　「地域交流事業」（地域住民（子ども～高齢者）の交流が図れる事業）

方法：□いつ、どのように行うか内容を決める　　□参加対象者を決める
□おおよその参加人数予測　　□感染症対策確認
□事前準備（役割分担、用意する物の確認等）　　□当日

〔具体例〕・茶話会等を年に数回開催

・祭り（夏祭り、七夕祭りなど）
クリスマス交流会、どんど焼き、音楽会、健康教室、
映画鑑賞会等の行事を開催

事　例

市町村名	活動内容
東京都中央区	自治会の活動

活動内容・工夫事例
～コロナ禍で季節外れの盆踊り大会実施～
１概要
　新型コロナウイルス感染症の影響により、盆踊り大会をはじめ町会内のイベントが中止になったことを受けて、コロナ禍でも地域を盛り上げたいとの思いから、感染対策等を行い、10 月に盆踊り大会を開催しました。
２工夫ポイント
　開催にあたって、実施した対策は、以下のとおりです。
・事前申込制
・当日の受付で手指消毒、氏名等の記入
・体温確認、マスク着用の徹底
　（受付済が確認できるよう、目印になるようなもの（シールなど）を準備してつけてもらう）
・飲食物の提供はしない。提供する場合には、持ち帰りにする。
・近隣住民に対して、事前に開催周知を行う
（感染リスクがある中でのイベント開催の場合、嫌な思いをされる方もいるため）

・プログラムの内容が３密になっていないか確認
・トイレ等に手洗い石鹸や消毒液を設置
・トイレ等の共有部分を定期的に消毒
このような点も事前に確認できるとみんなが安心して楽しめるイベントになりますね。

～他にもこんな「地域交流」事例があります～

野菜販売会

場所　自治会館

内容　自治会で野菜を購入し、半額を自治会が負担して販売した。
町内会ごとに時間を設定し、密にならないように実施した。
仕分けから販売までの作業は、主に自治会役員が行い、子ども会の協力も得て行った。

効果　新鮮な野菜を食べてもらい、「元気なカラダを維持してほしい」「次に会う時も笑顔が見たい」という思いから実施し、地域交流として三世代の住民が顔を合わせる機会となった。

グラウンドゴルフ大会

場所　近隣の公園　など

内容　自治会を中心に、地区社協や長寿会など地域の複数の団体が協力して、実施した。子どもから高齢者まで参加し、年齢や居住区もランダムでチーム分けして開催した。

効果　年齢や経験の有無に関わらず楽しめるスポーツを活用することにより、多世代交流や町内外の住民同士の情報交換など、住民交流の場になった。

屋外で輪投げ大会

場所　自治会館駐車場

内容　グループ制で、ソーシャルディスタンスを保った輪投げ大会を実施した。

効果　グループ内で交流するきっかけとなったことで、気分転換につながった。また、身体を動かすことで、介護予防にもつなげることができた。

体育館で小学生の催し物上映会

場所　学校の体育館

内容　地元の小学生が行うお遊戯会などを撮影し、プロジェクターで上映した。

効果　毎年行っていた世代間交流を目的とした発表会を上映会にすることで、中止にすることなく継続して開催することができた。

～　実施に向けたＱ&Ａ　～

Ｑ　グラウンドゴルフ大会など催し物を考えているが、道具などはどこで借りられるの？
Ｑ　イベントで催し物をしてくれるボランティアやお手伝いのボランティアを依頼したいが、どこにお願いすればいいの？

Ａ　ボランティアセンターで、ボランティアの調整や地域イベント用の道具貸出を行っています。
ボランティアセンター　　TEL：０４６‐２３２‐１６００

Ｑ　地区社協に連絡をとりたいがどこに聞けばよいか？
Ｑ　事業について相談がある時はどこに連絡すればよいか？
Ｑ　集い型のイベントを開催するにあたり、非接触型体温計を貸してほしい。

Ａ　地域の地区社協の連絡先や、その他のご相談については海老名市社会福祉協議会にお問い合わせください。
海老名市社会福祉協議会 地域支援グループ
TEL：０４６‐２３５‐０２２０

お知らせ

令和４年度は、地域包括ケア推進課の職員が自治会で開催されるイベントに、介護の事など高齢者のご相談に対して、「高齢者相談窓口」を設けて、お話を伺いたいと考えています。ご要望などありましたら、ご連絡ください。

おわりに

ここでご紹介した事例は、ほんの一例です。この他にも、各地区で実施されたイベントなど皆様にご紹介いただける事例などがありましたら、ぜひお知らせください。この事例集が、皆様のお役に立てば幸いです。